

令和4年度 吉川市立東中学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力をお願いするものです。

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての 評価の説明及び学校の考え	学校関係 者評価	評価に対する学校の説明・考察
1	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	3	授業規律の徹底、学習姿勢の向上、わかる・伸ばす授業の展開、規範意識の向上、小中一貫の取り組みなど積極的に行った。今年度は通常の教育計画へ戻せるように、行事の精選など工夫した取り組みができていた。	4	●生徒の学習意欲が態度に表れている。 ●学校が取り組んでいる事柄について学校公開だけでなく、運営委員会を利用し参加している保護者に掲示物や施設の状況等、生の学校を見てもらうことも大切であると思う。
2	教職員は、PDCAサイクルのもと教科指導や学級経営・校務分掌にあたっている。	3	学びの保障に向けて各教科で教育計画の見直しを行った。また、学習環境の整備のため、校内の掲示物の工夫や積極的に美化活動などを進めた。次年度は相互の授業公開や授業改善に力を入れていきたい。	4	●生徒の作品に教職員の指導力が発揮されているのがわかる。
3	学校は、事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3	年度初めの会議で各分掌から年間計画やマニュアルを提示し、ポイントを随時確認しながら共通行動で生徒の指導に当たった。素早い情報収集、迅速な対応が組織で取り組めた。次年度は、教育相談事業の研修を充実させたい。	4	
4	学校は、清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	3	清掃はしっかり行われており、子供たちが居心地のよい場所となっている。学年統一の掲示物など、ユニバーサルデザインを意識して、行われている。無言清掃が一部できていないところがあるので、共通理解をばかり取り組みたい。	4	●学校を訪問するたびに環境が整美されていることを実感している。
5	学校は、小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	3	研修主任を中心に東中校区小中一貫合同研修会（三輪野小と旭小）や校内研修で、泉字調の結果を分析し、具体的な取り組みを発表し関係職員で共有した。また、オンライン授業公開はもちろんのこと、6年生が中学校に来て体験授業や部活動見学を行った。算数数学の9年間を見通した学習内容の系統表も完成予定である。	4	●学校だよりから熱心に小中一貫教育に取り組んでいることが伝わってくる。 ●今後に期待します。
6	教職員はPTA活動や地域の活動に積極的に協力し、地域の人材を活用した学習活動を積極的に行っている。	3	総合学習では福祉体験授業で出前授業やオンライン授業で、学校外の人材を活用した。また、PTA活動では資源回収や除草作業、あじさい講習会などで、教職員と生徒、保護者が協力し美化活動などを行った。	4	●アジサイにかかわる作業や講演会が続いていることに敬服する。
7	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ等を活用し、積極的に情報提供している。	4	ホームページや保護者メールの発信が多かった。学校便りは月に1回、学年、学級だよりは週1回以上と盛んに情報発信した。また、グループドライブに行事など様々な出来事を写真を多く掲載しわかりやすい情報提供に努めた。	4	●学校だよりを楽しみにしています。
8	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	3	総合的な学習の時間での地域人材の活用や行事、環境整備への保護者の協力など学校と地域、学校と家庭は協力して教育活動を推進している。しかし、通常の授業における地域人材や保護者の活用はさらに進めることができると考える。 保護者と地域の連携に関しては、PTA本部役員がその大部分を担っており、学校職員からは見えにくくなっている。これを「見える化」して行くことが今後の課題である。	3	●地域の人材を見つけることは大変なことだと思います。 ●コロナの影響で以前より地域との交流が減少していたため、これから徐々に増やしていく必要がある。
9	生徒は、落ち着いて学習に取り組む、学習内容を理解しようとしている。	4	学習規律の徹底、学習姿勢の向上など年間を通じて取り組み続け、授業を大切にしている意識の向上が見られた。引き続き落ち着いた環境を維持し、学力の定着・向上に向けた方策に力を注いでいく。	4	●私語なく、自分の課題に取り組んでいる姿がよい。
10	教職員は、学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、生徒の実態に基づいた授業改善に努めている。	4	学校研修課題である「自ら学び続ける児童生徒の育成」の達成を目指し、主体的で深い学びを実現できるよう指導方法の工夫改善に取り組んだ。次年度は子供達の興味・関心、課題等を明確にして個性に応じた学びを引き出せるよう取り組んでいく。	4	●生徒に寄り添っている教職員の姿勢が伝わってくる。
11	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	4	年度当初に指導してあるので、すべてのクラスがクラスルームから課題を行うことができていた。校内研修や相互の授業公開などを通して率先して使用している教員に聞くなどして、活用例を周知してChromeBookを活用した授業を展開している。	4	
12	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	4	東中のstandardにとどまらず、「9年間の学びと育ちの連続性」に視点をあてた小中一貫教育ができるように、例：語先後礼など（言葉を先に、礼を後に）などの小中一貫の共通ルールを作成して取り組んだ。	4	●担当の先生によって授業の進み方にばらつきがあり、テストに多少の影響があったことがある。授業の進捗状況については、担当者同士での話し合いが必要であると感じた。受験を控えた3年生は2月頭には3年間の範囲をすべて終わらせてあげてほしい。
13	生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	3	新型コロナウイルス感染拡大防止のための、緊急事態宣言や未だに外せないマスクにより、以前より大きな声を出すことができなくなっていました。必要最低限のあいさつできるように教師側が示していきたい。	4	●学校外で生徒から会釈されることがある。 ●来校時には生徒から挨拶をされています。
14	生徒は学習のルールや生活のきまり・時間を守ることができる。	4	ほぼ全員の生徒が8:10までに登校をしており、授業開始時間に対しても意識ができていた。学習規律もしっかりしており落ち着いて学習ができている。自習でもGoogle Classroomの課題を黙々と行うことができていた。	4	●自転車がきちんと並んでいて気持ちが良い。
15	生徒はいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合って、学校生活を送っている。	4	学校は多様な価値観を持つ多数の生徒が集うところである。したがって、生徒同士のトラブルは少数であるが発生してしまう。教職員がアンテナを高く保ち、生徒の様子を細かに観察し、素早く対応をすることで、そのトラブルの悪影響を小さくし、かつ有効に利用してお互いの良さや価値観を認め合えるよう指導をしている。	4	●生徒どうしの関係の良さが表情にや態度から伝わってくる。
16	教職員は自ら手本となるなど、生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	3	生徒にとって最大の教育環境は教師自身である。時間を守ることにしても、教師側が時間前に動くことを意識して行動している。引き続き、教師側が油断せずに取り組み続けることは忘れてはいけないことと考える。	4	●体罰アンケートは良いが、記名式だとその後の学校生活に影響が出そうで本当のことを書きにくいのではないかと考える。匿名のアンケートの実施もするべきではないかと思う。 ●生徒と教職員の関係が良好であると思います。 ●これからも生徒に寄り添っていただけたらよいをお願いします。
17	生徒は、体力向上に向け、体育の授業や部活動または外遊びに意欲的に取り組んでいる。	4	運動部ガイドラインにより、運動部の体を動かす機会が減少しているが、体育では授業規律がしっかりと確立されており、生徒はしっかりと取り組んでいる。昼休みの外遊びも活発に取り組んでいる。次年度は部活動がなくなるため、体を動かす機会がさらに減少されるため、学校外で活動を市全体で行う必要がある。	4	●部活は大きな課題である。
18	学校は、生徒の健康管理および食育に関する意識を高めようとしている。	4	給食指導がしっかりできている。そのため、時間の確保でき、残飯も少ない。また、栄養教諭による栄養指導を計画的に行うことができた。次年度は食育の発表があるので、研修し模範となるような食育を行ってきたい。	4	
19	学校は、生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切に、生徒に寄り添った対応をしている。	4	欠席が続いた生徒へは即座に働きかけ問題を見過さず対応するようにし、教育相談部会において報告をしている。毎月の「安全点検」や、さわやか相談室との連携により生徒一人一人への適切な個別指導に役立っている。	4	●教師一人が抱え込まない体制づくりをお願いします。
20	学校はいじめや不登校をなくすため、生徒の指導の充実を図っている。	4	教職員は積極的に生徒と向き合っており、生徒理解に努め、言葉のキャッチボールによって心の内面に働きかけるようにしている。チャンス指導も大切にしている。生徒の変化に気が付けるように今後とも取り組んでいきたい。	4	●教師の感性を磨くことが大切だと思う。